

学 習 日 誌

2月20日 (金)	講 師	座間市俳句連盟 桑野 剛 、荒 理依子先生	
出席者数	55名	記 録 者	13 年 3 班 和田好弘
講 座 名	受講生提案講座 3 俳句講座		
プログラム担当者	趣味教養講座 文学グループ 司会進行 大竹一夫さん		
時 間・場 所	13:30 ~15:30 文化センター第1集会室 にて		

【学習内容】

1 俳句について

テキスト「初心者のための俳句入門講座」を頂いた。

俳句の楽しさ・面白さについて

友だちができる、新しい仲間がふえる。自然の中を歩いて楽しむことができる。健康の維持になる。17音を意識すれば俳句はできる。お金がかからない。

投句のすすめ

NHKや各新聞社の俳壇にできれば投句した方がよい。毎日1句でも作ることが大切。続けられるためには句会に入った方がよい。気づきを発見しやすい。学びの場としての俳句がとても楽しい。

2 選句

あすなる生が作った92句の中から、あすなる生が5句を選んだ。最高11人の方から選ばれた句
「初春や卒寿を超えて祝い酒」、「さえずりや目覚むる窓に日の匂い」

講師の方お二人が選んだ11句

「かんさんややしろにゆれるしでしろし」、「春木立枝の隙間の陽のかけら」、「初詣淡々と生き今があり」、「デバ地下で花びら餅に思い馳せ」、「だんまりの蛭わずかに動きおる」、「元旦や駿河の海に映える富士」、「葉ボタンに少し残れる夜つゆかな」、「禁断のりんご食べたかアダマイブ」、「クルクルとみんなであそぶおちばたち」、「主語なくて名詞もなくてみかん食む」、「熱爛が口にながしや一人酒」

講座の後半は講師と俳句との付き合いについての話がされた

講師の作られた俳句

「朝顔の色水屋さんの客になり」、「茶柱の古式泳法立ち泳ぎ」が紹介された。

最後に質疑応答があり講座を終えた

【感想】

お茶の世界、生け花の世界、踊りの世界等どんな世界にも流派があるが、やはり俳句にもそのような世界を感じた。それぞれの先生の流派によって選句される句にちがいがあって、選句されなかった場合は、なんだかなあ？と思われる。そもそもあすなる大学の講座で選句って必要なのか？